

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成21年 学校教育だより

May **5** 第301号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711 (内線623)



呼名に元気良く「ハイッ!!」—中学校入学式より—

写真提供/勝瀬中学校

意思

西中学校 三年

久米原 真凛

「逃げたいな。」

ぼつり、一人の少女が言う。

「逃げたらダメだよ。」

きつぱり、一人の少女が言う。

「わかってる。」少女は言う。

「立ち止まりたい。」

ぼつり、一人の少女が言う。

「立ち止まらないよ。」

はつきり、一人の少女が言う。

「知ってる。」少女は言う。

一人の少女と一人の少女。

二人はひとつ。

二人はふたつ。

支えに...

指導者 みずほ台小学校主幹教諭 鈴木泰生



- ① 「走力と跳力」には密接なつながりがある。
- ② 「精一杯走ること」は、簡単にできそうだが、苦手意識があったり、友達との関係が希薄であったりすると自分の力を出し切ることが難しい。

目標記録を決める

「子供はがんばり屋・・・」
この言葉を否定するつもりはありません。でも、がんばることは「精一杯自分を表現すること」、言い換えれば、「自分自身をさらけ出すこと」です。

友達とのつながりが希薄であったり、苦手意識が強かったりする子供たちの中には、自分の力を最大限に発揮することが難しく、「できない」のではなく「やれない」こともあります。

友達の精一杯の応援に支え続けられたとき、誰だつてがんばりたいと思うはず。精一杯がんばるとき、誰だつてもっと伸びたいと思うはず。そんな授業を目指して・・・



記録する...



測る...



跳ぶ...

友達が友達を支え続ける授業を目指して

走り幅跳び「目標記録」

50m走 タイム	走り幅跳び 記録	50m走 タイム	走り幅跳び 記録	50m走 タイム	走り幅跳び 記録
7. 7秒	345cm	9. 4秒	260cm	11. 1秒	175cm
7. 8秒	340cm	9. 5秒	255cm	11. 2秒	170cm
7. 9秒	335cm	9. 6秒	250cm	11. 3秒	165cm
8. 0秒	330cm	9. 7秒	245cm	11. 4秒	160cm
8. 1秒	325cm	9. 8秒	240cm	11. 5秒	155cm
8. 2秒	320cm	9. 9秒	235cm	11. 6秒	150cm
8. 3秒	315cm	10. 0秒	230cm	11. 7秒	145cm
8. 4秒	310cm	10. 1秒	225cm	11. 8秒	140cm
8. 5秒	305cm	10. 2秒	220cm	11. 9秒	135cm

このことから、スタートからゴールまで、友達の精一杯の応援に囲まれて、五十メートル走に取り組みました。

特別支援教育

本校の特別支援教育

水谷東小学校教諭 大木 雄平

本校の特別支援教育における重点の一つは、「通常の学級に在籍する、個別に支援を必要とする児童を把握し、児童の状況に十分配慮した指導を行う」である。該当児童に関する個別の指導計画を学期ごとに見直し、それに基づき担任やサポート員、少人数指導担当が連携し、一人一人に合った指導を進めている。

た指導を進めている。また、すこやか支援員は、その日の児童の様子や学習内容の理解度などを記録にまとめ、日々の指導に生かすようにしている。

もう一つは、「校内の支援体制の充実を図り、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を進める」である。校内特別支援教育委員会を定期的に開き、児童の状況を把握を行うとともに、そこで出された情報について全教職員が共有し、担任だけでなく、他の教職員も積極的に該当児童に関わるようにしている。

児童すべてが、無限の可能性をもつ。教師は、その可能性を日々子供たちと一緒に生活する中から見つけ出し、それを伸ばしていく。今年度の本校の方針「一歩前進プラスワン」という言葉には、そんな教師の姿勢が込められている。

目標記録を

目指して取り組む

(1) 準備運動

- ① 正しい準備運動の仕方を
知る。
- ② チーム内で教え合いながら、正しく準備運動を行う。

準備運動を「正確に行おうとする誠実さ」「支え合いながら行おうとする前向きさ」これらが、自分や友達の技能を伸ばす原点にあるからです。

(2) 跳ぶポイントを意識



- ① 「助走距離・助走スピード・踏切」を意識
- ② 踏切後の「空中姿勢」を意識
- ③ 「着地」を意識

この三点を考えながら練習

わかる授業 = 小学5年の体育科 =

友達を

します。
走り幅跳びの距離を伸ばすためには、遠くに跳ぶための技能ポイントを考えて取り組むことが大切です。



もちろん、友達の精一杯の応援やアドバイスに囲まれた精一杯の練習が重要です。

(3) 個人記録会

① 自分の目標にどれだけ近づき追い越せるか。

教育随想

教育長就任に当たって

富士見市教育委員会教育長 森元 州



この度、四月一日付けをもちまして、富士見市教育委員会教育長を拝命いたしました。私にとって身に余ることであり、その職責の重さを痛感しているところです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本市は「人間尊重」を教育の基本理念といたしまして生命を大切に思いやりのある豊かな人間性をはぐくむ教育を学校・家庭・地域が一体となり推進し、成果をあげてきているところです。

現在、時代の大きな転換期の中で、子供たちの教育をめぐっては基本的な生活習慣の乱れ、学ばず意欲や学力・体力の低下傾向、社会性や規範意識の欠如など、解決すべき多くの課題が指摘されています。また、天然資源に乏しいわが国にとつての最大の資源は、いつの時代にあっても人材です。現在の教育の抱える課題を解決するとともに、未来を

積極的に切り拓いていく人間の育成に力を入れていくことは、活力ある社会を構築する上で必要不可欠なことであると考えます。

教育委員会といたしまして時代の変化の潮流を踏まえ、これまでにも増して知・徳・体の調和を図るとともに、問題を解決するための豊かな想像力を発揮できる「生きる力」の育成を目指し、教育内容、教育諸条件の充実・改善に努めてまいります。どうぞご理解とご協力をいただきまして、就任のあいさつとさせていただきます。

② 踏み切り板から測定し、踏み越したらフールとする。

子供たち一人一人の目標はつきりし、集中して取り組むことができました。もちろん、友達の精一杯の応援に囲まれて・・・

(4) チーム記録会

① その日の個人の最高記録を得点化する。

② チームの合計点を出す。

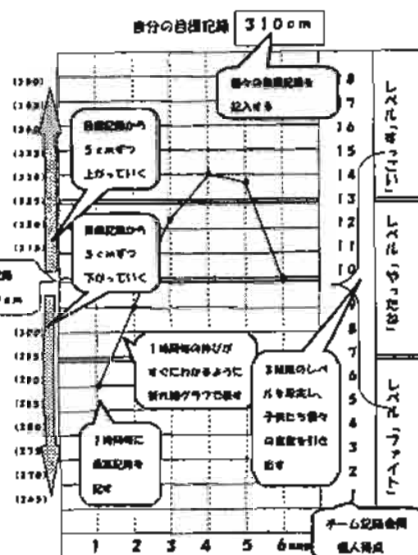
③ チーム全員が新記録を出すポイントが出る。

チームスポーツの要素を取り入れたことで、友達への応援・友達とのつながりがより強くなりました。

自分を振り返る

① 目標レベルを設定する。

② 折れ線グラフで示す。「目標」と「伸びの実感」。



このことが子供たちのがんばりを継続させてくれました。もちろん、どんなに失敗しても笑うことなく、応援し続けてくれた友達がいたことが、このがんばりの根底にあることですが・・・

指導・講評

みずほ小学校校長 柴田修一
小学校の体育授業において「運動好きな子」の育成は、運動能力の向上や体力全般の向上にとって大切なことであり、友達と協力し合ったり、個々の目標をしっかりと意識させ取り組ませることで、よりその効果が期待できると考えます。

この授業の目的は、友達との協力や励ましを基盤となつて、楽しく、目標に向かって取り組むことで、運動好きな子が多くなる実践と考えます。

保護者の立場で

水谷中学校PTA会長 川井 喜一郎

水谷中学校では、春に三年生の修学旅行に合わせ、一、二年生の遠足が実施されます。修学旅行の成功は中学生生活における大きな目標の一つであり、三年生にとって今後の進路実現に大きく結びつくものになります。保護者にとっても、旅行から帰ってくる子供がどのように成長してくるかとともに楽しみにしております。三年生は今、その最終段階に入っており、学年全体として盛り上がりを見せているよう

です。しかし、旅行中の集団の一員としての行動は、家庭の中だけではなかなか身につけられないものではありませんが、やはり学校の生活の中で友達とのやりとりを通して培われる面が多いかと思えます。

一方、一・二年生も同じ時期に遠足が実施される予定です。三年生での修学旅行の成功に向け、「集団の中で自分で考えて行動できる力を育てること」を目指して行われるそうです。自分たちで役割を

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～



決めたり、コースを決めたりする中で、時に、友達との意見が合わず、子供たちは悩むこともあるそうです。

その時に、子供たちが目の前の壁をどのように乗り越えていくのか、私たち保護者が、そんな子供たちにどのように接すればよいのか、とても悩むところではあります。

今は、子供が努力しながら挑戦し続けている姿を、ただひたすらに励まし、寄り添っていかうと考えています。家庭も学校とともに子供の成長を見守っていこうと思います。

子ども

つるせ台小学校6年

柴田 裕人

4月6日、準備登校。「何をするのだろうか？」体育館に集まると、先生から1年生の教室の飾り付けを頼まれました。「1年生、喜んでくれるかな？」と思いながら花などを付けました。入学式には、1年生と手をつないで入場しました。うれしそうな子やきん張し

最高学年として

ている子もいました。入学後は、1年生の教室で、朝の授業前の準備やそうじの手伝いをしています。

最高学年として、これから始まる「たてわり班」のリーダーや、小学校最後になる「運動会」「音楽会」「つるせ台フェスティバル」などの行事をがんばっていきたいです。



あいさつしよう

水谷小学校保護者 工藤 紀子

生まれたばかりのわが子を抱いた時、偽りのない澄んだ瞳に愛しさが込み上げた。

以来、笑顔で話しかけてきたが、いつの頃からか、「話しかけ」が「注意する」に変わった。それとともに、会話も減り、親の思い通りにいかないわが子に、いらだたしささえ感じた。そんな折、学校ぐるみで取り組んでいる、水谷小の「あいさつ運動」に役

員として参加し、学校や家庭でのあいさつの大切さを改めて知った。

わが家の朝のあいさつは：という、無言のあいさつが定番になっていた。「これではいけない」と、一念発起し、まずは夫婦で意図的にあいさつを始めた。

朝、「おはよう。よく寝た？」と、プラスα（アルファ）の返事を期待して夫に問えば、

教育課題特集

生きる力を

「風が強くて目が覚めたよ」
「へえ。地震でも起きないのに」と私。ありふれた言葉のキャッチボールでも、会話が続けば声も弾む。

そんな夫婦の楽しそうな声を耳にして、子供たちも元気に、「おはよう」と言いながら起きてくる。意図的だが心地よい。そして、こんな日常があたりまえのように続いてほしいと、思いを新たにしたら、大人が意識を変えれば、子供たちも変わる。家庭でのあいさつを通して、人間は変われる、と実感した。

そういえば、今年、米国では、オバマ大統領の Change 旋風が吹いている。そしてわが家でも Change の息吹を感じて春となった。



家庭教育

家族の会話

針ヶ谷小学校保護者 藤森 一孝



私は子供の躾を、あまり一生懸命になりすぎないようにと、日頃から気をつけている。なぜなら、厳しい躾をすると、子供が安らげる家庭にはならないからだ。何も躾なくない、という訳ではなく、基本的な生活習慣や、人を思いやる気持ちや行動を身に付けるのは大切だ。しかし、口で言うのではなく、親の行動や態度で示してあげたい。子供は

大人をよく見て観察している。だからこそ、よい手本になるべく、親も日々の行動に責任をもち子供と一緒に成長できるのではないだろうか。日頃、子供が買物の荷物を運ぶ際に扉を開けておさえてくれたりすると、些細なことでも「ありがとう」の言葉を必ず子供に伝えている。「ありがとう」の言葉は、どんな

人でも言われると嬉しく、それは大人も子供も一緒だと思う。人に感謝する気持ちは、子供が成長し人間関係を築いていく上で大切なこと。コミュニケーションをとるにも、意思の伝達が一方通行ではない。感情を素直に伝えられる子供であってほしい。

家族の会話を増やし、家族の絆を深めることは、安らぎのある楽しい家庭にもなり、その環境が家庭教育を行ううえで大切ではないかと思っている。今後も夫婦で、子供たちを見守り、会話のたえない楽しい家庭にしていきたい。

公民館活動で絆を深めるために

鶴瀬公民館長 越智 弘尚

公民館は、市民が気軽に集い、学び、つながり合いながら、まちづくりを進める力を培うことを目指しています。そのために市民団体・サークル活動の場を提供しています。また多様な学習要求に応えるとともに地域課題の解決にむけた事業の開催や地域の情報の収集や提供、学習相談などを行っています。

こうした中で、鶴瀬公民館が取り組んでいた小学生対象の事業に「わんぱく広場」があります。本事業は、子供たち



ちの居場所をつくり、さまざまな体験を通して、人と人との絆を深めようという願いから始まりました。現在は、当広場の講師役として関わっていただいた八人の地域の方々が「わんぱく広場スタッフの会」を立ち上げ、本事業を運営しています。現在は、毎月第四週の土曜日に、身近な材料を使った「手芸」と「手作り簡単調理」を行っています。毎回、学年も学校も異なる十数人の参加があり、お互いに協力し合い、楽しく活動に取り組んでいます。また、子供たちとスタッフの間には、和やかな雰囲気の中で、世代を超えた関わり合いも生まれてきました。

「わんぱく広場」は、地域の中では、まだ一つの「点」の存在です。これからは「面」となるように、学校や地域の理解と協力を得ながら「わんぱく広場スタッフの会」を支援していきたいと思えます。子供たちの明るい笑顔と人とのつながりが地域に広がっていくことを願っています。

学校 TODAY

特 集

四月八日、今年にはほぼ満開の桜の花の下での入学式でした。陽光にも恵まれ子供たちは緊張しながらも、うれしげな表情で新しい生活をスタートさせました。

入学後この学校も、歓迎会、校舎めぐりなどが行われますが、始まったばかりの子供たちの初々しい様子を「新年度を迎えて」としてご紹介します。

この「学校TODAY」は、毎回五つの学校の様子を写真で紹介していきます。今後のテーマは「学校自慢」「教育に関する3つの達成目標」「いろいろな人に学ぶ」です。ぜひ楽しみにしてください。



1年生ワクワク、部活動オリエンテーション

中学校で新生が何よりも楽しみにしている部活動。「迎える会」の後に行われた部活動オリエンテーションでは、各部の工夫をこらした部活紹介を、新入生も食い入る様に見つめていました。



初の共同作業

西中学校の新生は153人。初めての学年集会では協力の大切さを学びました。その後クラス全員が協力する初めての取り組みとして大縄跳びにチャレンジしました。

西
中



みんなで安全に

交通量の激しい道路に囲まれている本校。学校、保護者、地域の方が協力して子供たちの登校を見守っています。班長さんに連れられて、きちんと並んで登校できています。



入学おめでとう

4月8日(水)入学式。6年生に手を引かれて、緊張した面持ちで入場した1年生。担任の先生が紹介されると先生の顔をじっと見つめていました。友達いっぱいできるかな。

鶴
瀬
小

新年度を迎えて

Ⅱ市教育相談研究室よりⅡ

『不登校初期の対応を考える』

毎年五月頃になると、それまで元気に登校していた子が元気がなくなり、登校を嫌がったりすることがあります。そこで今回は、不登校を未然に防止するため、不登校前兆期や初期の様子とそれぞれの対応についてお伝えしたいと思います。

一 不登校前兆期の様子

前兆期とは、子供たちが学校生活や家庭生活の中で小さな不適応を起こし、日常生活を送るのが苦しくなりはじめている不登校になる前の頃をいいます。

例えば、何となく元気がなく表情が暗かったり、教室でボツンとしていたりするなど、今までとは違う様子をみせることがあります。しかし、まだ遅刻や早退・欠席などの形には表れていないため、見過ごしてしまいがちなので注意したいものです。

二 不登校初期の様子

初期段階になりますと情緒的に不安定になり混乱もみられることもあります。左記が主な症状です。

①腹痛・頭痛など身体症状がみられる。

(例) 熱がないのに頭痛を訴える。

②食事や睡眠などに乱れがみられる。

(例) いつもより食欲がない。

③物や人に当たるなどの攻撃性がある。

(例) すぐに怒り、机等を叩いたりする。

④感情や行動の調整がうまくできない。

(例) 機嫌をすぐになおせない。

南
畑
小

新しい取り組み、ハッスルデー

ハッスルデーは、全校児童が運動に楽しく取り組みながら、体力を高めることがねらいです。毎週水曜日は、学校中に歓声が響きます。



伝統ある鼓笛隊

鼓笛隊は6年生全員で構成されています。子どもフェスティバルや地区体育祭等、地域の多くの行事に参加しています。50年以上の伝統を誇っています。

東
中

登下校は安全な自転車

新年度になって、恒例の自転車点検を行いました。「横断歩道は自転車を降りて渡る」等、交通マナーをよく守る生徒は東中の誇りです。今年も交通事故ゼロを目指します。



ようこそ、東中へ！

入学式では、在校生全員が新入生を囲み、歓迎の歌を歌いました。東中には、上級生になると学校をリードする伝統があります。特に3年生は全校生徒の模範となります。

水
谷
小

1年生を迎える会

1年生をやさしく迎えようーそんな気持ちで、体育館はボカボカあたたかくなりました。学年帽を振っての学年紹介、クイズ、くす玉、あさがおの種のプレゼント…前年度から準備してきた出し物に、1年生はびっくりしたり笑ったり…いっしょにがんばろうね。



- ⑤ 気力が低下し何かに取り組んだとしても長続きしない。
 (例) 宿題で分からなくなるとすぐにはやめてしまう。
 ⑥ 恐怖心が強くなるため、人目を避けた
 り、外出しないことが多い。
 (例) 皆が私を見ていると口にする。
 ⑦ 学校の話題に激しい拒絶反応を示す。
 (例) 家族が学校の友達や勉強の話をすると急に怒ったりする。
 三 初期症状への対応の仕方
 これらの症状への対応の仕方は以下の通りです。
 ① 辛さに共感し投薬や体温の調節に気をくばる。
 (例) 「頭が痛くて辛いんだね」
 ② 食事の工夫や眠りやすいようにする。
 (例) 食欲が出る食事を用意する。
 ③ 干渉を控える等心理的刺激を減らす。
 (例) 小言を言う前に本人の話を聴く。
 ④ 本人に切替えの時間を与える。
 (例) 本人が落ち着くまで待つ。
 ⑤ その子なりの頑張りを認める。
 (例) 「途中でだけど頑張ったね」
 ⑥ 無理やり外出を強制しない。
 (例) 家族との外食を勧めてみる。
 ⑦ 心が安定するまで学校の話はしない。
 (例) 本人の好む話題で話してあげる。
 四 まとめ
 お子様には前兆期や初期のような様子が見られた場合には、先ず、担任の先生に相談すると共に前述の対応も参考にしてみて下さい。また、必要により本室の教育相談も是非ご利用下さい。

教育委員会だより

◎平成21年度富士見市教育行政方針

- 1 信頼される学校づくりの推進と教職員の育成
- 2 豊かな心をはぐくむ教育の推進
- 3 特別な教育的ニーズに応じた適切な教育の推進
- 4 安全・安心な学校づくりの推進
- 5 平和で豊かな地域社会実現のための生涯学習の推進
- 6 文化的風土をつくる郷土遺産の継承・活用の推進
- 7 明るい市民生活を支える健康・体力づくりの推進

平成21年度の学校教育だより「きんもくせい」の編集委員の先生方をお知らせいたします。今年度も富士見市の教育理念「『人間尊重』の教育」を基本とし、その実現を求めて編集に携わっていただきます。よろしくお願いいたします。

編集委員長 保坂雅美 (水谷東小学校校長)
 編集副委員長 三浦光生 (勝瀬中学校教頭)
 編集委員 鈴木泰生 (みずほ台小学校主幹教諭)
 山崎美晴 (ふじみ野小学校主幹教諭)
 松波徳美 (関沢小学校教諭)
 辻口幸恵 (富士見台中学校主幹教諭)
 内海幸一郎 (勝瀬中学校教諭)

◎運動会(体育祭)、音楽会(合唱祭)等の日程

学校名	運動会等	雨天のとき	♪音楽会等
鶴瀬小	9月26日(土)	9月30日(水)	11月13日(金)
水谷小	9月12日(土)	9月15日(火)	11月7日(土)
南畑小	9月12日(土)	9月13日(日)	11月17日(火)
関沢小	6月6日(土)	6月9日(火)	11月13日(金)
勝瀬小	6月6日(土)	6月9日(火)	11月6日(金)
水谷東小	5月23日(土)	5月27日(水)	11月7日(土)
諏訪小	5月23日(土)	5月26日(火)	11月7日(土)
みずほ台小	9月26日(土)	9月29日(火)	11月11日(水)
針ヶ谷小	9月26日(土)	9月29日(火)	11月6日(金)
ふじみ野小	6月6日(土)	6月9日(火)	11月7日(土)
つるせ台小	5月23日(土)	5月24日(日)	11月6日(金)
富士見台中	9月19日(土)	9月20日(日)	11月7日(土)
本郷中	9月19日(土)	9月25日(金)	11月13日(金)
東中	5月30日(土)	6月3日(水)	11月10日(火)
西中	9月19日(土)	9月25日(金)	10月30日(金)
勝瀬中	5月30日(土)	5月31日(日)	10月29日(木)
水谷中	9月19日(土)	9月25日(金)	11月12日(木)
富士見特別支援学校	5月30日(土)	5月31日(日)	11月21日(土)

お詫びと訂正

3月号(300号)に執筆いただいた「生きる力をはぐくむ」中、「健康が一番」の東中学校保護者齋藤恵美子さんの原稿で、予防接種の「接種」が抜けていました。訂正してお詫びいたします。

今原稿を書いているのが4月の初旬なので、こう書かせてください。保護者の皆様、ご入学、ご進級おめでとうございます。

私の学校では、今年度「一歩前進プラスワン」というキヤッチフレーズを掲げさせてもらいました。さて意味合いですが、自分の得意分野(分掌)で、前年度より一歩でも改善しようというのが一歩前進。自分の苦手、不得意な分野でも学校や自分にとって大切なことなら一つでも、新しく取り組んでみようというのがプラスワン。この背景として今年度が、二十三年度に迫った新学習指導要領の完全実施への移行一年目の年であるということがあります。二十三年度という、まだまだ先の話とも思いますが、実はかなりの部分が今年度から実施しても良いことになっています。例えば小学校の外国語活動など、待ったなしの領域も多くあります。是非、読者の皆様、各学校の発信する情報、またこの「きんもくせい」からの情報に注目していただければと思います。(保坂)



クラスの横顔

本郷中学校教諭 田中 力



四月八日。
 新入生を祝福するかのよう
 に桜が美しく咲き誇り、明る
 くやわらかな太陽の光に包ま
 れた中で、入学式を迎えまし

あいさつをすると、たくさん
 の子供たちが大きな声であい
 さつを返してくれて、まずは
 一安心。
 そして教室へ。簡単な自己
 紹介のあと、入学式の説明。

自然と笑顔がこぼれていまし
 た。
 そんな子供たちに配った今
 年の学級通信のタイトルは、
 「一期一笑。」笑顔のあふれ
 る出合いをたくさんしてほし

い、大事にしてほしいと願ひ、
 タイトルをつけました。初日
 の出合いは上々。たくさん
 の笑顔が見られました。
 それから約二週間、一年一
 組は元気で明るい、エネルギー
 にあふれた姿を見せていま
 す。

編集日記

今原稿を書いているのが4月の初旬なので、こう書かせてください。保護者の皆様、ご入学、ご進級おめでとうございます。

私の学校では、今年度「一歩前進プラスワン」というキヤッチフレーズを掲げさせてもらいました。さて意味合いですが、自分の得意分野(分掌)で、前年度より一歩でも改善しようというのが一歩前進。自分の苦手、不得意な分野でも学校や自分にとって大切なことなら一つでも、新しく取り組んでみようというのがプラスワン。この背景として今年度が、二十三年度に迫った新学習指導要領の完全実施への移行一年目の年であるということがあります。二十三年度という、まだまだ先の話とも思いますが、実はかなりの部分が今年度から実施しても良いことになっています。例えば小学校の外国語活動など、待ったなしの領域も多くあります。是非、読者の皆様、各学校の発信する情報、またこの「きんもくせい」からの情報に注目していただければと思います。(保坂)